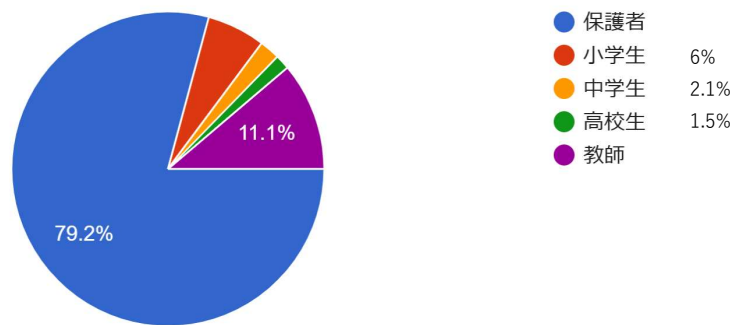


令和8年度 三郷市青少年育成推進委員協議会 挨拶（あいさつ）に関する意識調査アンケート結果

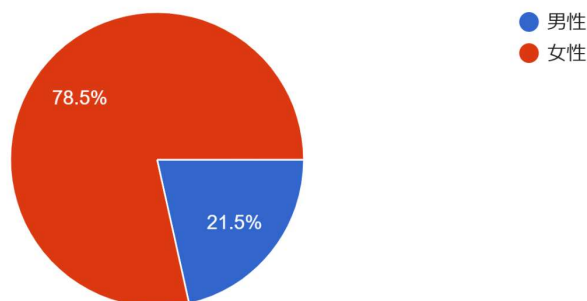
1.あなたの立場を教えてください。

332 件の回答



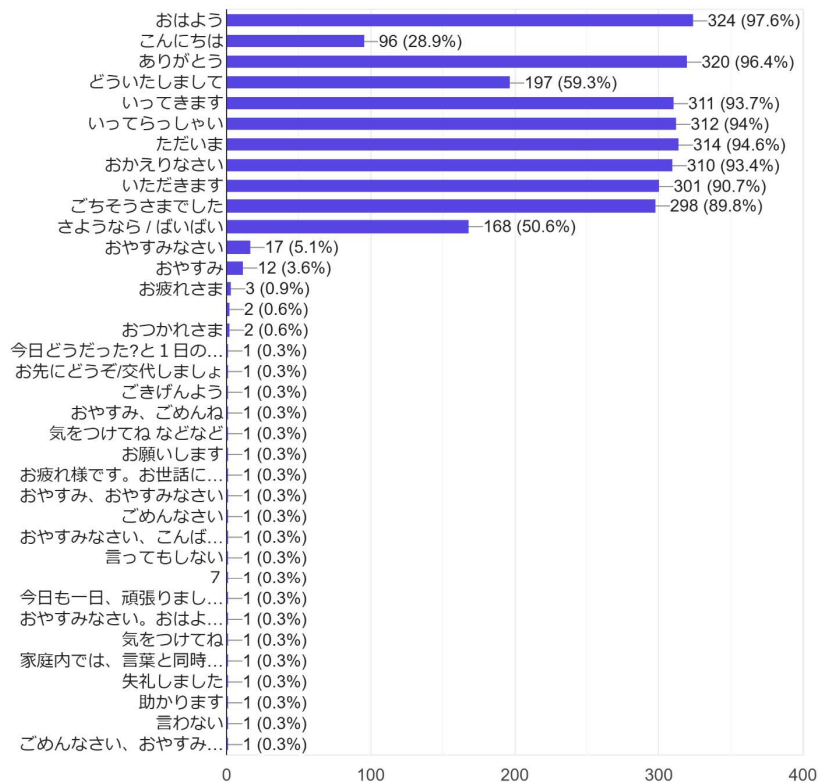
2.性別（任意）を教えてください。

321 件の回答



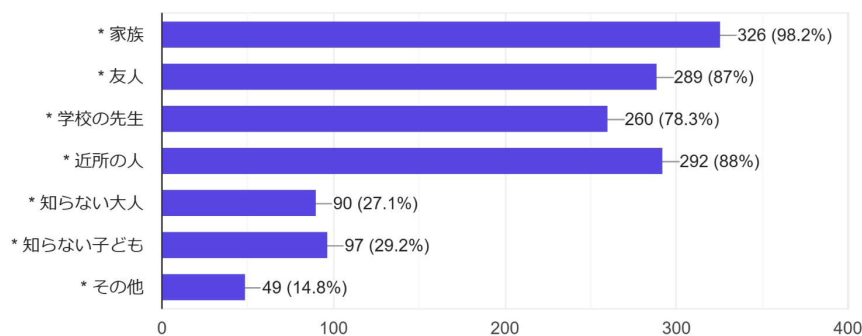
3.家庭内で普段使う挨拶《あいさつ》を複数回答にて教えてください。

332 件の回答



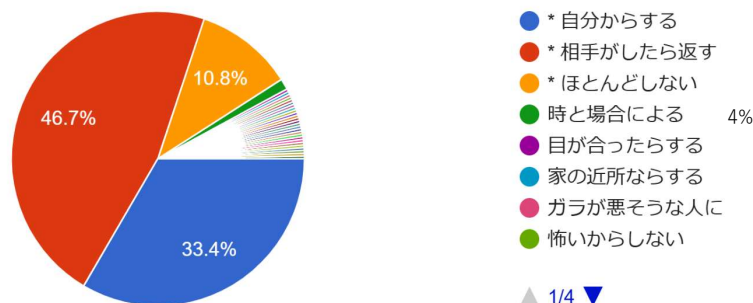
4.挨拶《あいさつ》をする相手を教えてください。（複数選択可）

332 件の回答



5.知らない人に対して挨拶《あいさつ》をしますか。

332 件の回答



○「自分からする」・「相手がしたら返す」・「ほとんどしない」・「時と場合による」以外の回答（各選択肢0.3%）。

登山のときはする。

めがあったら、会釈だけです。

工作中はします。

他校の先生などには自分からする。

自宅前、職場など場所によって、自分からするようにしています。

時と場合による。

老人に対しては自分からする。若い人にはしていない。

目が合ったらする。

ガラが悪そうな人にはあまりしないが基本は知らない人にも挨拶をする。

信号のおじさんや、おばさんにはする。

知らない人でもこっち見てるなぁと思ったら挨拶する。

生活範囲内で会う方であれば、近距離接する時にしている。

その時の状況による。

子どもには自分から知らない大人は相手がしたら。

近所を通る小学生には朝自分から挨拶をします。

近所を歩いている人には自分からあいさつします。

怖いからしない。

学校に出入りしている方には、積極的に挨拶できている。

同じマンションの人ならする。

周りや相手の状況を見て判断している。

臨機応変というかその時の状況に合わせてします。

マンション内であればする。

家の近所ならする。

近所や学校で会えば知らない人でもする。

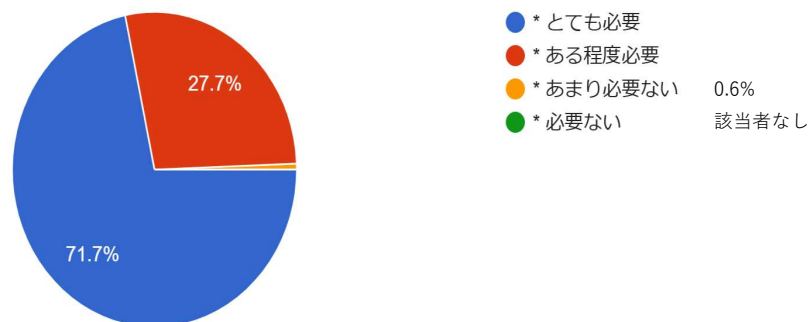
されたら返す。

マンション住民は知らなくても挨拶する。

同じマンションの住人には自らする。

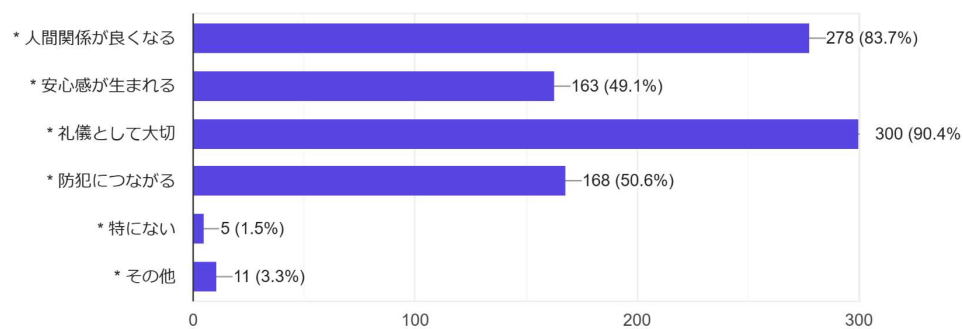
6.挨拶《あいさつ》は必要だと思いますか。

332 件の回答



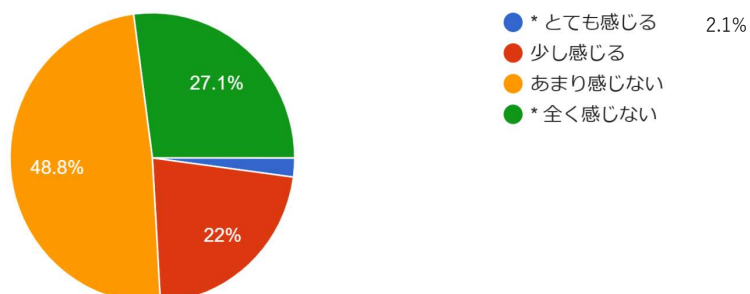
7.挨拶《あいさつ》をすると良いことは何だと思いますか。（複数選択可）

332 件の回答

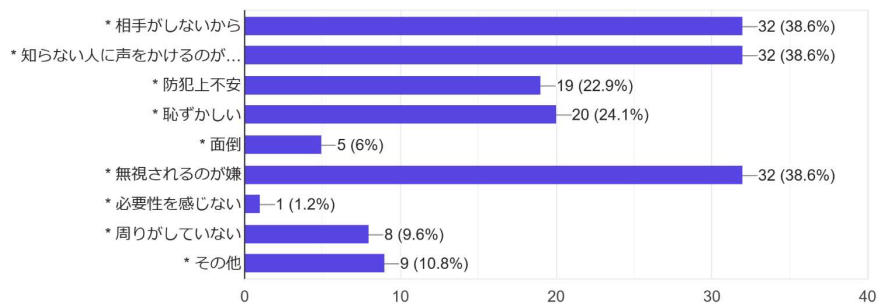


8-1.挨拶《あいさつ》に対して苦手意識や挨拶がしづらいと感じますか。

332 件の回答

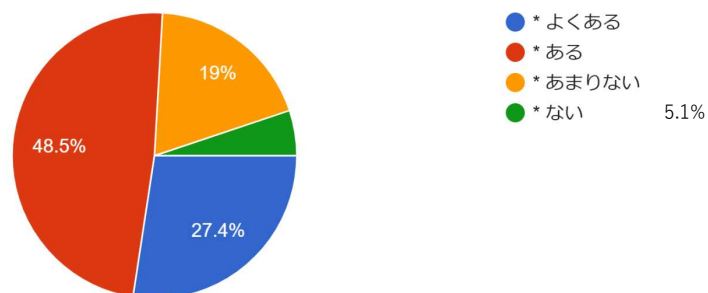


【8-1で『とても感じる』、『少し感じる』を選択した方のみお答えください。】 8-2.挨拶《あいさつ》に苦手意識や挨拶をしづらいと感じる理由を教えてください。（複数選択可）
83 件の回答



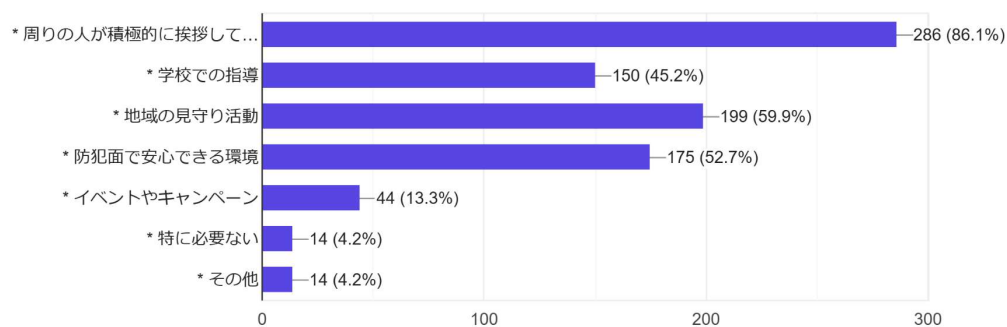
9.「知らない人に気をつけるように」と言われたことがありますか。

332 件の回答



12.どのような環境なら挨拶《あいさつ》しやすくなると思いますか。（複数選択可）

332 件の回答



13.挨拶 《あいさつ》を増やすためのアイデアがあれば教えてください。アンケートより感じたこと、アンケートに対するご意見でも構いません。（任意）

知らない人とは、自宅付近ではない駅で会う人や路上で出会う等も含むのか？定義があまりよくわからなかった。

大人が率先して挨拶をし、子供に見せる。

敬語を意識しすぎる大人が挨拶をしにくくしている。

外国の挨拶を導入する事はやめてください。日本人の挨拶を大切にしてほしいです。

大きな声での挨拶を好きな人や、褒める人がいますが、あまりおすすめはしません。大きな声が苦手だったり、難聴だったりする人がいるからです。視覚障害の人以外なら。

どちらかと言うと、会釈が大事かと思います。

挨拶が苦手、人と目を合わせるのが苦手な人でも、会釈でも良いと教えると、出来る人が増えます。

昔、自分が子供の頃にたくさん近所にはいました。おせっかいな大人になる。

挨拶は人と人の繋がりをスムーズにし、とても大切だと感じますが、最近の子供達は学校や家庭でも防犯上知らない人とは話さないようにと指導をされている家庭も多いのではないのでしょうか。

我が子は小学生からスポーツをしていたため、公園で知らない大人や年上の子供達と一緒に対決したり、顔見知りになって遊ぶうちに自然と挨拶やマナーを教えられてきたように思います。

近隣住民への配慮から、なかなか公園でボール遊びをしたり、昔のように自由に交流できる遊び場が減ってきていることも近所の人との交流がスムーズにいかない原因のひとつのように感じます。

家に籠りがちで警戒心が強くなっているのかなと感じたので、子供達が昔のように外で安心して遊べる場所がたくさんあれば挨拶も活発になるのではないかと思います。"

知ってる人や学校や家族には積極的に挨拶はできますが、近所に関してはまずどんな人が住んでるのかさえ知らないお家が多く自ら挨拶をするのは怖いです。

先生達が生徒だけでなく地域の人や保護者に事務的ではない挨拶をしている姿をもっと見せるべき。

今まで幼、小、中と先生達と関わりを持ってきたが、高校の先生方、無愛想すぎます。先生達の雰囲気で子供達の明るさ変わります。挨拶ひとつ、もっと明るく返して欲しいです。"

学校は先生がまず目を見て挨拶できるようにする。今時代知らない人への挨拶は基本的しない。きっかけがあればするで良いのでは。家では言っても年頃も加えてしない。

自分から笑顔で挨拶をすればいいと思う。

挨拶は普段から日課にしないと、相手との関係を良好にしようという気持ちがないと続かない。

いただきます、ごちそうさま、も作ってくれた人や食材への感謝を考えれば自然と出てくる。

あとは周りの大人が当たり前のようにやらなければ子供はやらない。"

田舎では、学校の帰り道などすれ違った人と挨拶するのは当たり前。でも、こちらに来たら、無視された。地域性もあるのかもしれない。そして、仕事場では20代前半の方たちは、挨拶しても、声は返ってこない。頭をベコリと下げるだけ。これも、時代なのか。イヤホンをしていて、聞こえてないことも多い。

ある時から知らない人には近づかない等のしわ寄せが今まさにこの状況をつくってしまったのかとも思う。

知らない人への挨拶は大人がしていないせいでは？昔は大人も率先して挨拶していたイメージだが希薄になっていると感じる。

挨拶運動みたいなものが、みんなに浸透すれば挨拶がしやすくなると思います。

話を始める前に、挨拶をしてからっていうのを癖づける。

挨拶月間 相手より先に自ら挨拶をしよう。

三郷挨拶ウィークを作って啓発する。

まずは家庭での躾、マナーとしての挨拶は必須だと思います。それが無いのに他者に対して挨拶は難しいと感じています。

同時に家庭や学校でのあいさつカードなどの取り組みも有効かと感じます。"

子どもたちは、大人の姿をよく見ていると思います。

「挨拶をしなさい」と子どもに伝える前に、まずは私たち大人が、日頃から地域や学校で気持ちのよい挨拶をすることが大切だと感じます。

保護者、先生、地域の方々が率先垂範の気持ちで挨拶を交わすことで、子どもたちも自然と挨拶の大切さを感じ、行動につながっていくのではないのでしょうか。

私は、登校時、通学路によくたちますが、

知っている子に挨拶をして、

返事をさせるようにして、

それを褒めて、他の子に挨拶する。

大きな声で挨拶できる子には、まわりに聞こえるように、

褒めてます。

子どもという時に、親がまず積極的に挨拶をする姿を見せる。

まず、あいさつのすぐに出ない子供に対しては、大人から子供へ積極的に声をかける方が子供も安心と思う。

たくさん挨拶をする。

登校時の旗振りをしていると、班長さんが挨拶してくれる班は班員のみんなも挨拶してくれる印象です。上級生が見本となるような働き掛けを行うとよいのかなと思います。

周りの友達が挨拶する。

子供達があいさつを自分からすれば、あいさつは増えます。

一度大量の人とあいさつすれば、次に顔を合わせた時にあいさつするかも。

あいさつしよーぜ！ってみんなに伝える。

保護者と子供で遊ぶ機会を作り、その時に皆であいさつする。

子供に対して、知らない人に道端等で挨拶することを指導することは難しいと感じる。

知らない人でも、学校や家庭など、安心出来る環境で出会う人なら積極的に挨拶することを促して良いと思う。"

家庭内でたくさん挨拶して外でも挨拶できるようにする。周りも自分のも挨拶のしやすい環境をつくる。

親が積極的に挨拶する。

背中を見せていないと子どもも必要性を感じないと思います。

みんな仲良くする。 味方だってわかると挨拶がしやすい。

声に出さなくても会釈が出来れば返しやすいかなと思ってます。

大人からの挨拶。日常的な挨拶。

子供にはきちんと挨拶ができるようになってほしいと思い、この地域に越してから自分でも積極的に周囲の方に挨拶するように心掛けてきました。また、親子の顔を覚えて貰うことで何かあった時に声をかけて貰えて安心だなと思っていました。ただ子供が小学生になり子供だけで行動することが増えると、友達や自分が挨拶をしたことがある相手を知っている人=安心な人と思い込んでしまうことが心配になりました。

娘がこのアンケートで、挨拶がしづらいと感じる理由に、知らない相手が良い人か悪い人か判断できないと言っていました。でも、挨拶をすると周りが明るくなる気がする!!とも言っていました。このアンケートを通じて挨拶は必要、でも警戒心もなくてはいけないそう思いました。"

「知らない人」が「近所のよく会う人」になるタイミングがあれば良いと思いますが、その機会が減っているんだらうなあとと思います。今の小学生は土日は習い事等で忙しいので、お子さんが幼稚園くらいまでにその保護者らと地域の人が顔見知りになると良いんですが…。

挨拶を返す人が増えればいい。

学校での挨拶運動的なキャンペーン。

登校班で元気に挨拶。上の学年の子が率先してやれば下の子も覚える。

組織のトップが、開口一番印象的な（元気がいい）挨拶をする。全世代共通して印象に残る。

登校班が集まった時に挨拶するよう指導する。近所の大人が見本を見せる。

家庭での声掛け、私が子供の頃は挨拶委員会があり、子供達が朝、正門で挨拶の声かけをしました。

周りの大人が挨拶する姿を見せる。

大人が積極的に挨拶をしなければ子供は挨拶しない、挨拶する姿を見せなければ何も始まらない。

知らない人には挨拶しないと教えているかもしれないが学校内では保護者等には挨拶をしっかりするという指導を学校でも家庭でもして言った方が良いと思う。

そもそも挨拶というのは誰に習うでもなく自然と自分で積極的にしていき周りの人との繋がりを作るものだと思う。"

知らない人への挨拶は、わざわざする必要はないと思うが、「ありがとう」「どういたしまして」は必要に応じてする必要があると思う。

挨拶シール運動（挨拶されて相手が気持ちよく感じたら挨拶した人にシールをあげる）。

知らない人にあいさつすることはハードルが高い気がします。学校と地域が関わっているなどで少しでも知っている人には、お互いあいさつできると良いと思う。

まず大人が見本を見せること。挨拶が恥ずかしいものではないと教えること。

アンケートの「挨拶を増やすためのアイデア」について意見を投稿させていただきます。

「知らない人には挨拶をしない」といった括りがありますが、少し大雑把ではないかと感じています。

「知らない人」であっても、学校で顔を合わせる人や、利用する施設で出会う方、また施設を清掃してくださっている方など、日常的に接点がある相手には、積極的に挨拶をするべきではないでしょうか。

単なる「知らない人」ではなく、「コミュニティの中で顔を合わせる人」という意識を持つことで、より自然に挨拶が広がるきっかけになると思います。子どもたちへのご指導よろしく願いいたします。

今、給食前の「いただきます」をなくす学校もあると聞いています。これには反対です。命をいただく、食に関わるみんなに感謝の気持ちを現す挨拶だと思うので。

まずは大人がしっかり挨拶をする姿を子供に見せる。

無理に増やす必要性はないと思う。

親が挨拶していればすると思います。

笑顔で挨拶する

家庭や幼いころの声かけが、とても大切であると感じています！。

小さい頃から習慣づけること。"

学校は問題なくできます。特に地域が課題で、知らない人がいるとどうしても挨拶をためらうのが心理だと思います。地域の人同士が顔を合わせる機会が増えれば自然と挨拶をすると思います。

いきなり、知らない人への挨拶は対抗があるかと思いますが、部活動の見学に来る保護者や先輩方、中学生と保護者の皆さん

また、部活の遠征や大会等は

関係者の方々がほばだと思うので、すれ違う時など、挨拶したりできると、学校の外でも素晴らしい態度の生徒、保護者と認識していただけるのではないのでしょうか。"

挨拶をしている人だらけの環境にする。教員としては、まず教師、保護者、地域が当たり前聞こえるあいさつをしつこく必ずすることが第一だと思います。

周りの大人が積極的に行う。

学校では、あいさつが盛り上がるように、児童と一緒に計画しながら活動を考えています。（あいさつキャンペーン、あいさつの花シール等）。

挨拶+一言を意識してするようにしている。

各家庭で保護者が進んであいさつを行い、子どもの模範となる。

「12」の質問にあった、「イベントやキャンペーン」がよいと思います。「ここでは挨拶をする」という場を設ければ、挨拶をしやすく

目が合ったら声を出してコミュニケーションを取る。

家庭でも普段からあいさつをする環境を作る。親があいさつしている姿を子供に見せる。

小学校であいさつ運動をしている。

大人があいさつをする。

挨拶運動、挨拶ウィーク、道徳。

笑顔。

口に出して挨拶するだけが重要ではなく、目礼や会釈、ただ目を合わせるだけのことも重要。

スポーツ推進すればいいんじゃないでしょうか？挨拶ちゃんとできるのは、スポーツやってる子の方が多い感じがします。

あいさつを推進するバッチ、キーホルダーとかで。あいさつする人ってのをアピールできるといいのかと思います。

ただいまは、あまり親しくないといわない方がいい。

見守り活動などをしていますが、何より大人が挨拶をする、当たり前前に挨拶している姿を子どもに見せることが大事だと感じます。声が出せない子であれば、ペコリとお辞儀するのもいいと思います。

大人が率先して挨拶をしているところを見せていく。

挨拶をしたら、スマホがその声を感知してポイントが貯まる。そのポイントは換金できて世界に寄付可能。

朝の通学班に集まったら各々朝の挨拶をする。

"少なくとも、見守り隊の方（洋服、腕章などを）は安心できるからしっかり挨拶をするよう指導していく。

曜日で挨拶推進日を作る。クラスで1人、挨拶当番を毎日決める。

普通の学校生活で、先生が見本となっていけないと子どもたちもなくなってしまおうと思う。世代的に先生達が挨拶していないような感じが見受けられる。

大人から子供に声をかけるのは、防犯の観点からは今は警戒されてしまう。見守りの腕章など着けている時限定かなとおもっている。

環境づくり。

挨拶できない人とコミュニケーション取ろうと思えないので、人としてのあり方をはかるツールと思う。

見守り隊の人や、旗振りをしている保護者には挨拶する等、身元がわかる人には挨拶するようにした方が良いと思う。

旗振りの際に挨拶をするが、返してくれる子がほとんどいないのでとても悲しいです。

低学年や高学年男子はほとんど返してくれません。恥ずかしいのかわからないが担当しているのは地域の保護者なので挨拶はきちんとしてほしい。"

親が挨拶をすること。子供に挨拶の強要をしないこと。

教育現場等での挨拶強化期間を設ける等、地域大人の積極的な挨拶運動。

登下校時の立哨、スクールガードさんへの積極的な挨拶キャンペーン。

校門での挨拶運動など、校内でできることは学校も頑張っているのです。

挨拶は自分からするものです。難しいことはありません。

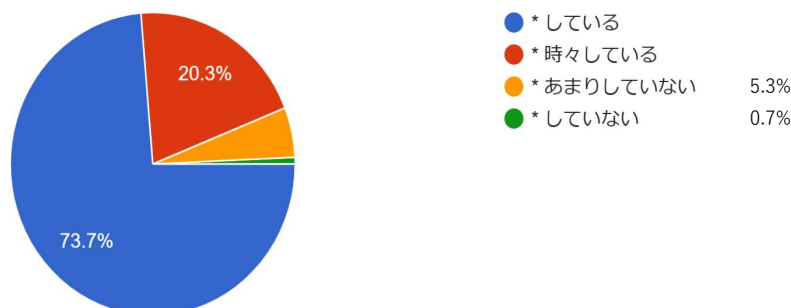
大人が率先して挨拶をしてる姿を見せて、子どももそれが当たり前だと思える状況を作ることが大切だと思う。

自分から積極的にする。

当たり前にする。大人が手本になり、率先して挨拶をする。恥ずかしいという気持ちよりも、カッコイイという印象をもって貰えるようにする。見る機会を増やす。

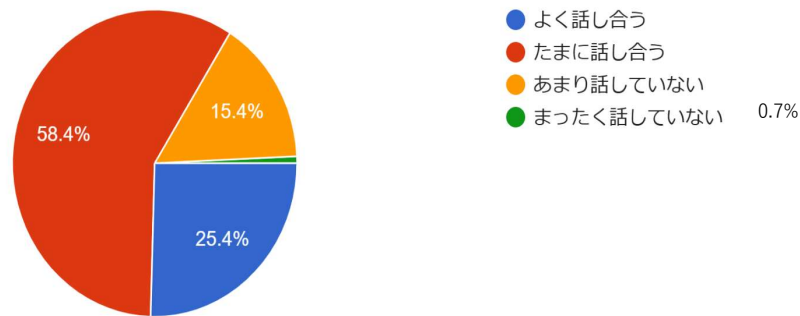
14.【保護者のみ回答】お子様に挨拶《あいさつ》をするよう指導していますか

281 件の回答



15.【保護者のみ回答】 お子様と防犯について話し合っていますか。

279 件の回答



16.【保護者のみ回答】 お子様に防犯についてどのように声をかけていますか。

あまり人をジロジロ見ないように。
知らない人に気を付ける、門限等。
暗い道は通らない。出先でも連絡する（ラインも可）。
不審な人が居たら近寄らない。
変わった人に 声をかけられたら逃げるように指導しています。
SNSで知らない人と対話する場合は、個人を特定できる事は教えない。もし、トラブルばくになったら、すぐに親や教師など、身近なリアルに付き合いがある大人に相談する。子ども達だけで、解決しない。リアルでトラブルにあった場合は最悪、携帯の電源を切ってもかけられる緊急通報ダイヤルを押す。
適度な距離を保つ。
怪しい動きや、態度をとってる人には近づかない等。
周りに気をつけるように。
一人で留守番時の注意。高校生なので帰宅が遅くなる際になるべく明るいところを通るようにする。1人で行動しないようにする。
どこに出かける、帰る時間などわかる範囲で共有できるよう連絡や報告するようにしている…帰宅遅い時は送迎などできる範囲でしています。
知らない人にはついていけない。しつこいようなら、近くのお店に逃げて。
小学生のうちは学区外へ出ないこと、差し出された食べ物には口にしないことを指導しました。中高生の時期は、危なそうな話し方や顔つきの人間には注意することを伝えていきます。
気をつけてねと声をかけてる。
知らない人とは話さないように。
夜遅くに散歩かないよ。車から離れて歩く。
学校からの帰宅時、家の鍵を開ける時に後ろや周りに知らない人が居ないか気をつけてる様に言っています。
変なやつに気をつけろ。
施錠すること。不審者がいたら戦わず全力で逃げる。SNSの情報を信じすぎないこと。
子供が嫌いな大人もいるからね。
知らない相手とは連絡を取らない。
知らない人は無視。
Xで知り合った人と遊ぶ時など必ず居場所を知らせるように声掛けしてます。
夜に呼びかけられても気が付いてないふりして通り過ぎるなど。
GPSは絶対にオフにしない事は徹底しています。知らない人についていけないのはもちろん、ネットの中でも知らない人はダメと言っています。
「知らない人には付いていけないで」だけでは曖昧です。「一人で遊ばない」「お留守番のときは鍵を開けない」「出かける時は『誰と・どこへ・何時に帰るか』を言う」など、我が家のルールとして具体化します。
人通りの多い道を通ることや遅くまで出かけない。
誰とどこにいるのかわかるようにしてます。保護者が不在の友人宅には上らないようにしてます。
話あうというより一方的に伝えてはいる。日本が無用心すぎるところ、夜の帰宅について、他。言っても聞かないが。
絶対について行かない。ささいなことでも気になることがあれば大人に知らせるよう伝えている。
戸締り、暗いところには1人で行かないなど。
1人でうろちょろしない。門限をまもる。知らない人について行かない。
相手が困っていても、車には乗らない、近づかない。
人通りの少ない道は、通らないように。

知らない人には近づきすぎない。
具体的な例を出して話しているしている。
気を付けて、いってらっしゃい。
男でも周りに気をつけて。
昼間でも特に歩いている時は後ろを振り向くように言っている。普段から子供の話を聞くようにして危ないと感じた事は言う。
知らないひとについていけない。
怪しい人、悪そうな人がいたら、その場を離れる。すぐ逃げる。
気を引き締めて行動する様に。
特になし。
怪しいと思うなら、自分の直感を信じるしかないよと言っている。
戸締りをしっかりする、家に入る時に周囲を確認するなど。
すぐに判断するのではなく、いちど時間をおいたり考えたりしてから行動する。困ったときは必ず相談する。
知らない人にはついて行かない。暗い道を1人で歩かない、など。
遊びに行った時にあまり遅くならないように。何かあった場合直ぐに連絡するように。
夜道を移動する際は明るくひと通りが多い所を選ぶようにするとか、自宅に居たとしてもむやみにインターホンに出ないなど。
知らない人と話しちゃダメ、インターホンがなくても出ちゃダメ。
変な人はどこにでもいるし見た目で判断出来ないから気をつけるよう伝えてます。
知らない人には声を掛けない、怪しいと思ったら近所の知っている大人に声を知らせる。
知らない人に話しかけられても返さなくていいよ。
朝のニュースに事件が取り沙汰された時などに、特に注意するように伝えている。
夜間は特に、一人で行動しないように。
SNSに気を付けてと声掛けしています。
鍵をかける事や、痴漢などの被害に遭った際等の話をする。
小さい時、知らない人についていかなくてよく話してた…今は帰り遅くなるなら、必ず連絡をすること。
スマホのGPSは切らないでと伝えています。
自分から挨拶するように。
知らない人には無闇について行かない。
日頃から少しだけでも、周りを気に掛けたり意識する。
出来るだけ明るくて人がいそうな所を下校するように言ってます。
危険を感じたら、すぐ逃げる。助けを求める。
知らない人には会釈程度の挨拶でいいと話しています。
相手の事をよく観察するようにしよう。
知らない人が、ピンポン来たら出なくて良い。絶対に知らない人にはついて行かない、等。
知らない人に声かけられても軽々しく話さない。子どもには、困っている人を見かけたら助けようとする気持ちは大切にしてほしいと伝えてます。一方で、知らない人から急に助けを求められた場合は、すぐについて行ったり一人で対応したりせず、まずは近くの大人や先生、お店の人などに知らせよう話しています。「やさしさ」と「自分を守ること」の両方を大切にできるよう、日頃から声をかけています。
1人では、下校しない。まとまって下校する。うちは、親なしでは、外では遊ばせていません。低学年。
少しでも“怪しい”と思ったら逃げる。友達でも顔見知りでも、嫌だと感じたら応じないこと。
知らない人はもちろん、知っている人でも、車に乗ったり家に上がったりはしないこと。
ママが連絡先を知らない人の家に入ってはいけない。たとえ友達の家でも友達が不在の時には家に入ってはいけない。動物を連れてくる人にむやみに近付かない。様子のおかしい人を見たら友達とコソコソ話をしないですぐに家に戻る。
知らない人についていけない、知らない人からもられない。
前だけでなく左右後方もよく確認しながら登下校すること。もし家のドアの前で家族を待つ場合は扉を背にして待つよう伝えてます。
家族や友達以外の人にはついていけない。迷子になったら近場の人よりお店の人に相談する。
1人で登下校しないこと。他人とは距離を取る。インターホンがなくてもドアは開けない。知り合いでも。
自分の身を守る意識、一人にならない、施錠する、車から離れる等。
近所の人には必ず挨拶するように。そうしたら困った時に助けてくれるよと。
やはり知らない人には話したりついて行かないように伝えているため、子供から自発的に挨拶をする事は難しいと思う。
まだ低学年なので、これから伝えようと思っています。
鍵は必ず閉める。
知らない人にはついていけない。
子どもを騙すために上手に話しかけてくる悪い人がいるということを伝え、シミュレーションをしたりしています。
挨拶はとても大切だけど、知らない人を信じ過ぎないで。
知らない人についていけない、何かもらわない、車に近づかない。

鍵をかける、インターホンがなくても無理に出ない、地域の人に挨拶する、何かあれば助けを求める。

ついていかない、何かもらわない、食べない、車に近づかない。

知らない人にはついていかない。知らない人がパパやママの事を言ってきたりしてもついて行かない。知ってる人でもついて行かない。

知らない人についていかない、声かけられたら無視しろ、車のそばに寄らない。

大人に相談する。

中学生→遅い時間に1人で出歩かない 小学生→チャイムが鳴ったら帰る、知らない人についていかない。

おはよう、おかえりの挨拶や返事はOK。ただ、それ以外の何かを聞き出そうとする質問にはあまり答えないように話合っています。また、駐停車している車のすぐ横は歩かないように、知らない人から物は貰わないように。ただし、近所の人と知らない人の区別を子どもが付けられるよう、親が地域の人と関わったり積極的に挨拶してどこに住んでいる人か情報を得るようにし、【この人は地域の人】という共通認識を共有するようにしています。

お年寄り限定ですが、挨拶や関わりは回覧板のような地域の見守りも兼ねていると思っています。近所に高齢者が多いため、何かあった時にむしろ声をかけてもらえる存在になれるように挨拶を心がけるように教えています。が、低学年の子どもには、【挨拶は皆に】知っている人のみ【お返事】をするように約束をしています。

常に連絡が取れる状態であってほしい。

チャイムがなくても出ない。

GPSの携帯、どんな人にも挨拶をしましょう、知らない人にはついて行かない、大人に道を聞かれたら「わかりませんと答えて」大人に任せる。

挨拶をする間柄(知っている人)でも、あなたの嫌がることや体を触ったりする人は悪い人だからすぐにママ、パパ、先生、誰でも良いから教えてね。家の鍵を使うときは、いつもと同じように、ピンポンを鳴らして「ただいま!」と声をかけてから鍵を使ってね。などを伝えています。

知らない人についていかない。必ずGPSを携帯して行動するように。

人通りが少ない場所には一人で歩かないよう伝えています。

知らない人について行かない様に。

知らない人についていかない。親の目の届かない所へはひとりで行かない。

声掛けはしていないが娘は自主的に防犯について学ぶ姿勢がある。普段の口癖や、夫婦間の会話から防犯についての意識がそのまま親から子に伝わっていると思う。

知らない人にはついていかない。

鍵を学校に持たせているので、人に見せたりしないように。家の鍵を開ける時に近くに知らない人がいたら、ご近所さんの家にピンポンして行きなさい。(袋小路なので知らない人が家の前にいることがまずありえない事なので、そう教えています)。

留守番の時に、電話などに出ないこと。

知らない人にはついて行かない。

車の真横は歩くな、家族以外で君達をどこかに呼び寄せるような事は絶対に頼まない。普通の大人は子どもに助けを求めたり道を聞いたりしないから大人にまかせろと言ってある。

不審な行動をする人からは離れるの(逃げる)。周りに助けを求める(出来ればお店など素性のわかる人)。

ながら携帯はやめなさい。

夜は、おっきな通りを通って帰ってくるようにさせてます。

知らない人や、おかしい言動をしていり人には近づかないで離れること。公園などで1人にならないこと。

ニュースなどの事件などを話す。

知らない人にはついていかない。近寄らない。防犯ブザーを鳴らす。

特になし。

不審な人物を見かけたら、絶対近づかない。逃げる。大人に知らせる。

甘い話はない。

怪しい人や甘い声がけをする人がいた場合は、避けて逃げるよう声がけてます。

どんな状況でも一旦怪しいと疑ってみて欲しい。

遅くなる前に帰宅し連絡がすぐ繋がるようにしておく。

特にしていません。

知らない人とは一定の距離を保つこと。防犯ブザーを持ち歩いて、車や人がよく通る道を使うように。

ネット社会の危険性、ネットだけに限らず何事も使い方によっては便利にも危険にもなること。留守番している時には人が来ても対応しないこと。知らない人に親や友達などの名前を出されてもついていけないこと。危なそうな人や出来事に遭遇したらまず離れること。ニュースなどで事件があったら自分だったらどうするか、こういう危険なこともあるよと話す時間を作ること。

止まっている車の近くを歩かない事。大人が困って子供に助けを求める事はないので、助けて欲しいと言われたらその場で応じず、他の大人に話す事。と伝えています。

知らない人にはついて行かない。

知らない人についていけない。ネット上で個人情報を渡さない。

知らない人にはついて行かないように。

怪しい人、不用意に近づいて怒る大人と距離を取るように。

知らない人にはついていけない。

家族以外についていけない。

家族以外には付いて行かない。

全く知らない人に挨拶する必要はない。

挨拶しても、これあげるとかものでつったり名前を聞かれても教えない、着いてかない、ある程度距離はあけて話すように伝えてます。

知らない人には付いて行かない。

知らない人にはついていけない。

変な人がいたら大きな声を出して助けを呼ぶんだよ！。

知らない人についていったらだめ、知っている人にもついていったらだめ。

変な人に合ったら大きな声を出す。

いかのおすしを守るように伝えている。

知らない人に気をつける。

怖い目に遭ってもいきなり声を上げるのは難しいと思うので時々、想定質問をして助けを求める方法など一緒に考えています。また、近いけど暗い道より少し遠くても明るい道、なるべく複数で行動し1人になる時間は短くなるように話しています。自宅に着いて、玄関を開ける時は周囲を確認する。また、違和感を感じる人が自宅方向まで一緒になる場合はそのまま自宅に向かわず少し様子を見る。自宅に誰もいなくても、ただいまー。と声を出しながら入るよう伝えています。

適宜おこなっています。

遊びに行く時に、お父さんやお母さんで行ってない場所又は知らない場所には行かない。遊ばない。時間を守って遊ぶ。もし、知らない人に声かけられたら簡単な挨拶だけで後は話さない。どんな人と話したか報告する。などです。

変だなと感じたら、相手にしない。逃げる。叫ぶ、など。

暗くなったら外っフラフラしない。

在宅中、知らない大人が訪ねてきても居留守する様に。っと伝えています。

知らない人にはついていけない。

不審者情報が入ると声かけ。

何かあれば報告、連絡、相談する。

連絡がとれるように徹底。

知らない人にはついていけない。物をもらわない。

知らない人について行かない。家族のみついて行っていい。

未成年である子供に対しては不審者との接触は心配であるが、しかし挨拶をすることにより、防犯の効果もあると考えると、知らない人に声をかけないような教育はできないと思っています。

ニュースなどを交えて、危険に気づくことを教えている。何か不審なことがあったときは必ず親に伝えるよう指導している。「そんな目にあったのはあなたのこういうところに落ち度があったから」という言い方は絶対にしないようにしている。学校でやっていないので、包括的な性教育は家庭で行なっている。

知らない人にはついていけない、知らない人の話を信用しない。

危険なことはしないように。

知らない人・怪しい人には関わらない、逃げろ。

挨拶してくれる・声掛けしてくれる大人なら安心、ではないので、連れて行かれない距離を保つこと、周りの大人を頼ること、暗くなる時間帯は外出を控えることなどを都度声掛けしているかなと思います。

知らない人についていけない。なるべく1人にならないようにする。少しでも変だなと思ったら距離を取る。

1～2人で公園などで遊んでいるときに、知らない大人が来たときは気を付ける、移動するなど。帰宅時、保護者不在でも「ただいま」と言って入るよう伝えています。

「いかのおすし」を守る。

全く見ず知らずの人には絶対に対応するなど伝えていきます。

人通りの多い道を歩く。

知らない人にはついていかない。細い道、暗い道は通らない。

自分の身の安全を1番に考えること。

知らない人にはついていかない・声をかけられても、知らない人なら最低限の挨拶にとどめて、すぐ立ち去る・困ったときはどこでもいいからお家に駆け込んで助けを求める。

知らない大人が助けてとかこっち来てと言ってきた時は誘拐されるかも知れないから逃げて。

鍵を閉める・知らない人についていかない・もしなにかされたら【嫌だと拒否して逃げ、なにがあったか大人に教えること】。

知らない人に声をかけられたらむやみに話さない。

大人のの人に道を聞かれたり、案内してって言われた時はついていかない。など。

人見知りしないため、知らない人とのやり取りが少し怖く感じる時がある。その後、どんなことが起こるかを伝えていつている。親がどんなに心配するか伝えている。

お父さんお母さんが連絡先を知っている人以外に挨拶はしないこと。

知らない人について行かないように、1人での時は特に注意するよう伝えていきます。

明るいうちに帰ってくる、近所の人と会話をし顔を覚えてもらう。

特になし。

ニュースで出たり、話題に出た内容について話し合う。

危ないと思ったら1人でも荷物を捨てて逃げる。治安の悪い、素行が疑われる人間とは距離を置くこと。

学校～家までの間に何かあった時に頼れる場所の確認。

知らない人にはついて行かない。名前を教えない。出会ったときは帰ってから相談をするように伝えてある。

知らない人に着いていかない、挨拶以外で質問等声をかけられても答えない。

知らない人にはついて行かない、知らない人に何か聞かれても答えない、お留守番の時に誰が来ても家の鍵を開けない、など。

起こりうる状況を想定して、対応として正しい行動をクイズ方式で問題出しています。

知らない人にはついていかない、声をかけられても答えない。

知らない人にはついて行かない。

知らない人にはついていかない。距離をとる。停車している車の近く通らないで、離れて歩く。

知らない人についていかない。危ない間に合いそうになったら、お店でもどこでも逃げ込むなど。

前に通学路で下の子とお兄ちゃんの帰りを待ってたら挨拶をされたので挨拶してお話したら宗教の勧誘でした。それ以来むやみに挨拶されてもお辞儀する程度で、子供にも話しかけられても無視して走りなさい。と教えています。

同じマンションの住人には防犯や災害時にお世話になる可能性があるため、知らない人でも挨拶をするように言っています。一方で、マンション外の人には気軽に挨拶や話しかけたりしないように言っています（連れ去りなどのリスクがあるため）。

知らない人にはついていかない。一人で行動しない。

時間を決めて帰宅する。

知らない場所、人気の少ない場所には行かない。知らない人に声をかけられても近寄らない。留守番している時、インターフォンが鳴っても無視をする。また、留守番時は外で遊ばない。

知らない人から貰った物は食べない。

よく周りを見ることや近所の方への挨拶をちゃんとすること。

知らない人にはついて行かない。話さない。お留守番の時は、ピンポンと鳴っても絶対に出ない。